

第1回会津美里町 投票区再編検討委員会

R8.2.13

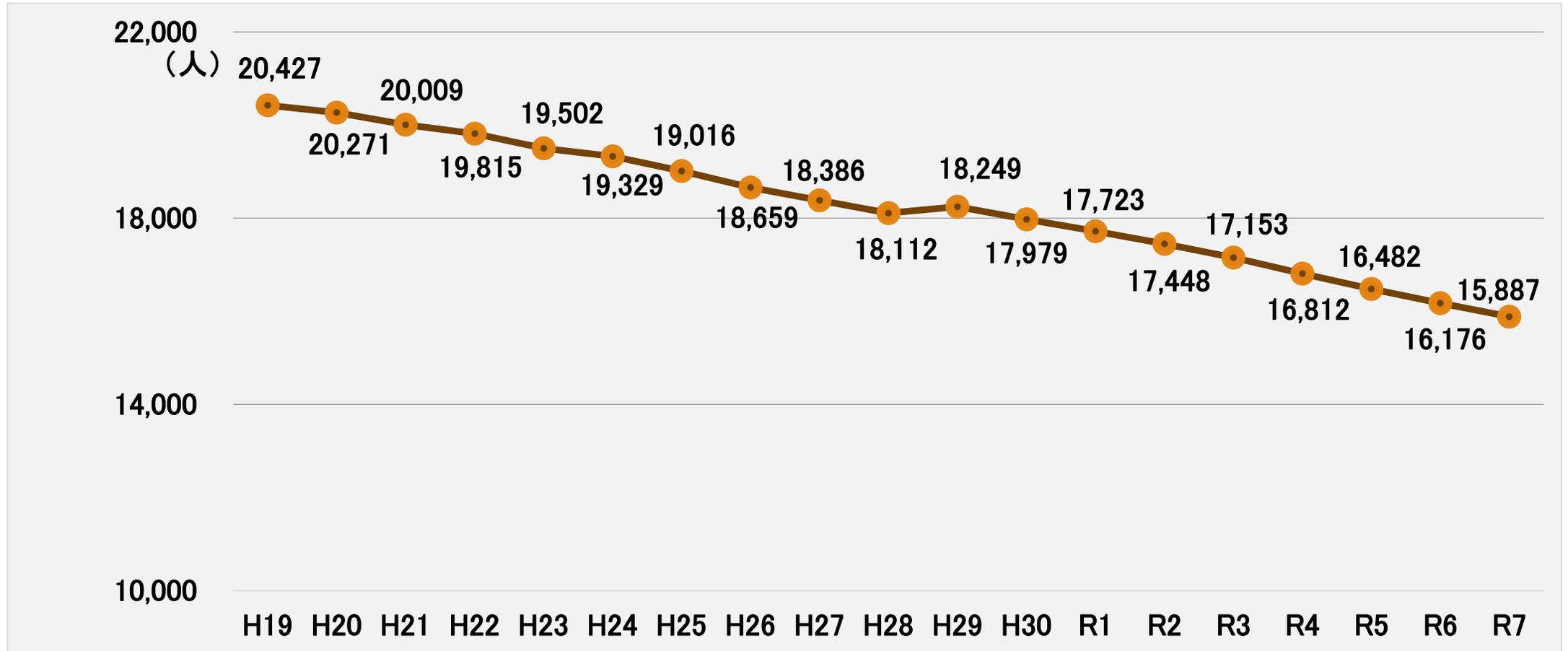
投票区の現状について

投票区数について

地 域	投 票 区 数	投票区名
高田地域	14投票区	高田第1、高田第2、田川、永井野、荻窪、旭、藤川、橋爪、赤留、八木沢、雀林、尾岐、西尾、東尾岐
本郷地域	8投票区	本郷第1、本郷第2、本郷第3、本郷第4、本郷第5、本郷第6、本郷第7、本郷第8
新鶴地域	8投票区	新屋敷、沢田、出戸田沢、入田沢、佐賀瀬川、根岸、境野、下小沢
合計	30投票区	

H17.10の合併時に旧町村の30投票区をそのまま引き継ぎ、現在も同様の投票区で選挙執行している。

有権者数の推移①



町全体でH19～R7までに、有権者数は4,540人減少

※表は、各年度の6月定時登録による有権者数の推移

有権者数の推移②

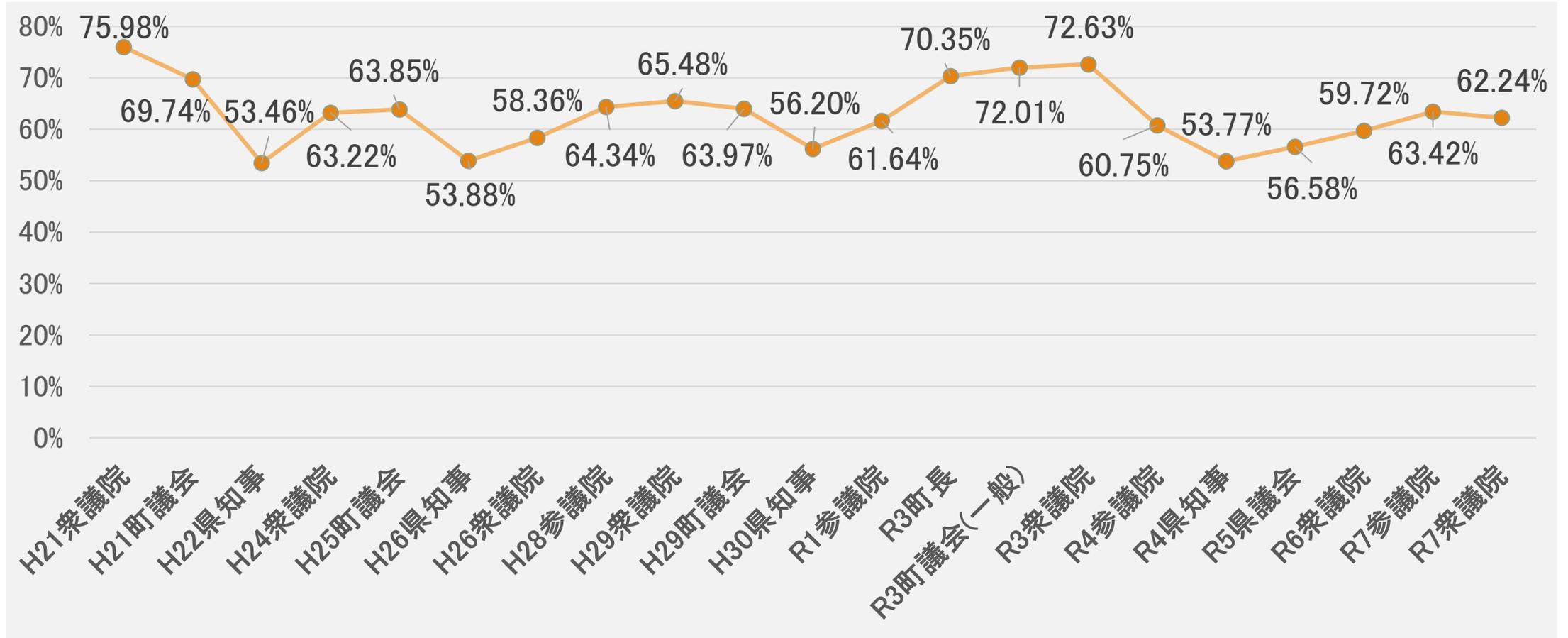
【投票区一部抜粋】

表：投票区別の有権者数比較(H19とR7)

地域	投票区名	H19 男女計	R7 男女計	比較 男女計	減少率
高田地域	高田第1(役場本庁舎)	3,306人	2,497人	－809人	24.47%
	西尾(西尾甲部集会所)	226人	116人	－110人	48.67%
本郷地域	本郷第1(役場本郷庁舎)	2,439人	1,997人	－442人	18.12%
	本郷第3(関山集落センター)	181人	116人	－65人	35.91%
新鶴地域	新屋敷(役場新鶴庁舎)	1,229人	1,056人	－173人	14.07%
	入田沢(入田沢公民館)	89人	54人	－35人	39.32%

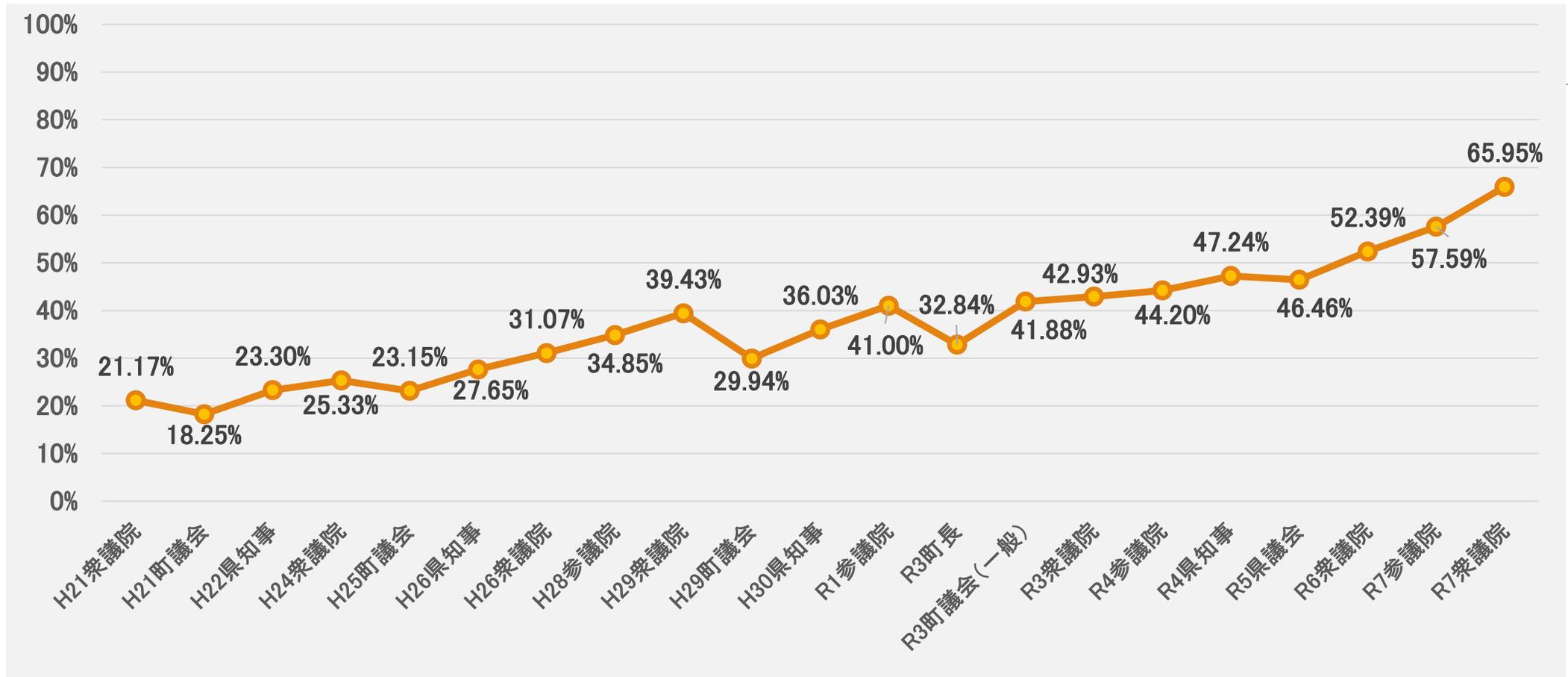
他投票区の推移は、別紙の「選挙人名簿登録者数(6月定時登録): H19とR7の比較」をご確認ください。

投票率の推移



町選挙は投票率が高い傾向にあり、県知事選は減少傾向

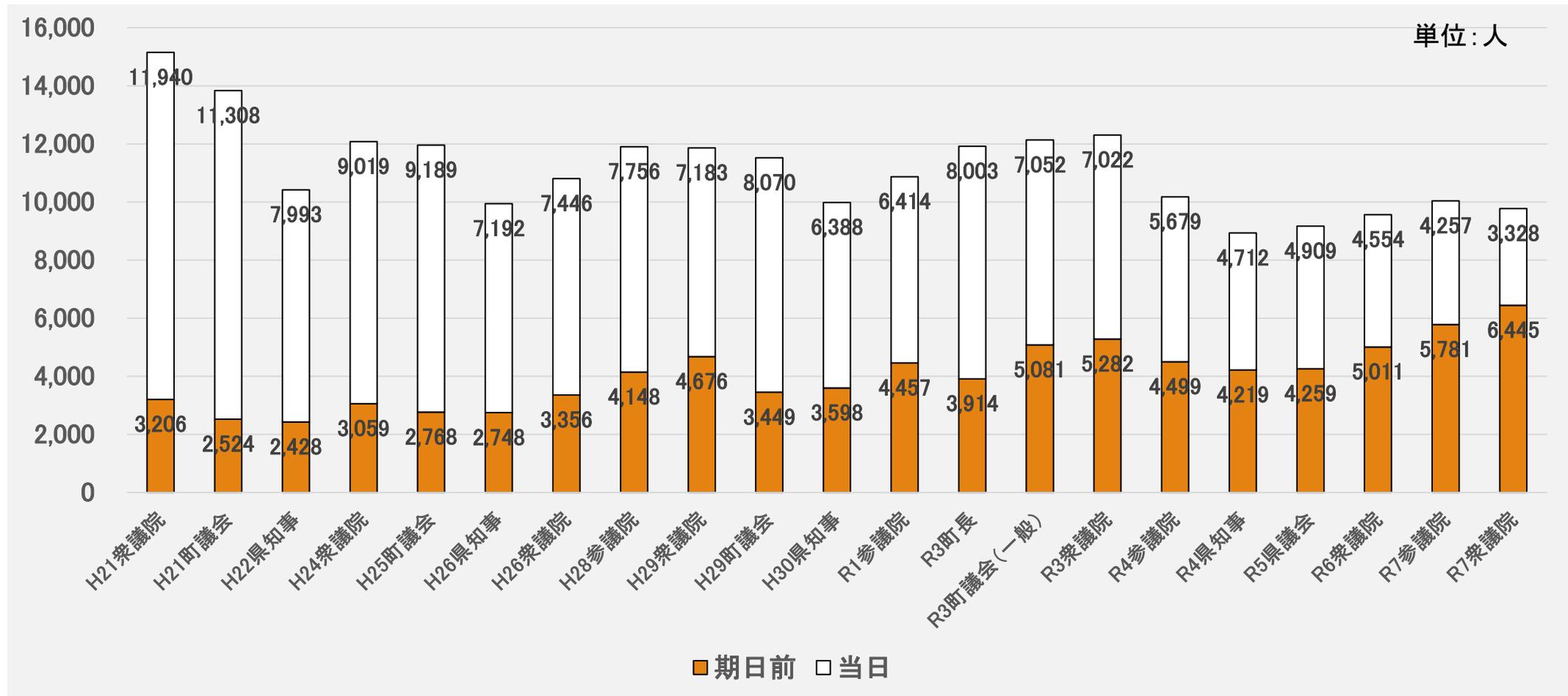
期日前投票者数の推移①



投票者総数に占める期日前投票者数の割合が上昇している

期日前投票者数の推移②

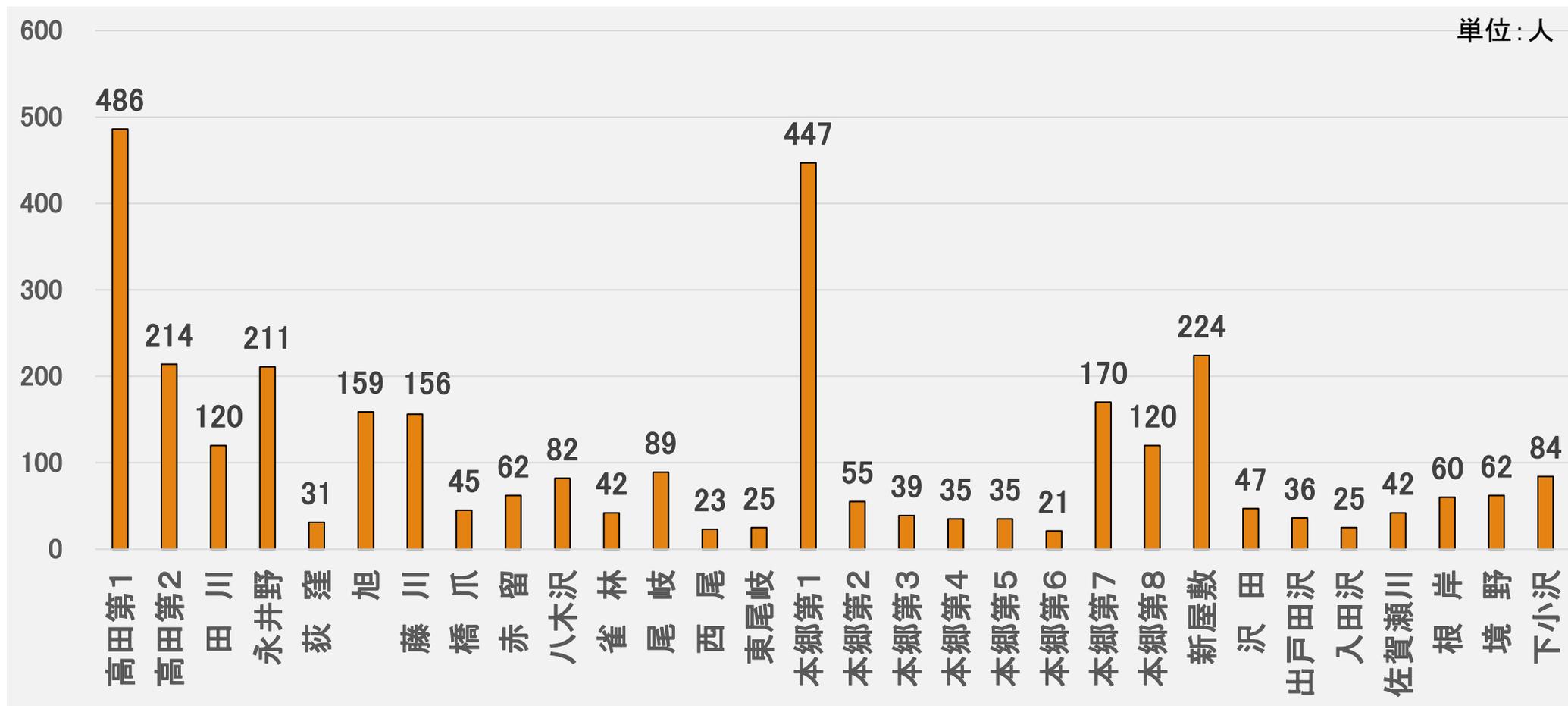
表：当日投票者数と期日前投票者数



R6衆院選に期日前投票者数が当日投票者数を上回る

各投票区別の当日投票者数

R7衆院選(R8.2.8)



投票所における最大来場者は486人、最小来場者は21人

投票所運営の状況について①

【施設・環境面の課題】

- ・施設の老朽化
- ・冷暖房設備の未整備
- ・バリアフリー化への対応
- ・駐車スペースの確保



投票所運営の状況について②

【運営体制の課題(人の問題)】

- ・投票管理者・投票立会人の担い手不足



- ・大規模自然災害や感染症対策など有事が発生した際、町の危機管理体制に支障が出る

投票所運営の状況について③

【財政的課題(コスト)】

・当日投票所経費 約718万円(R7参院選:30投票所分)

項目:投票管理者・立会人報酬、町職員手当、消耗品、会場借上料、システム委託料、選挙機器手数料等

→ 1投票所あたりの経費 約23.9万円

※全体経費 約2,347万円

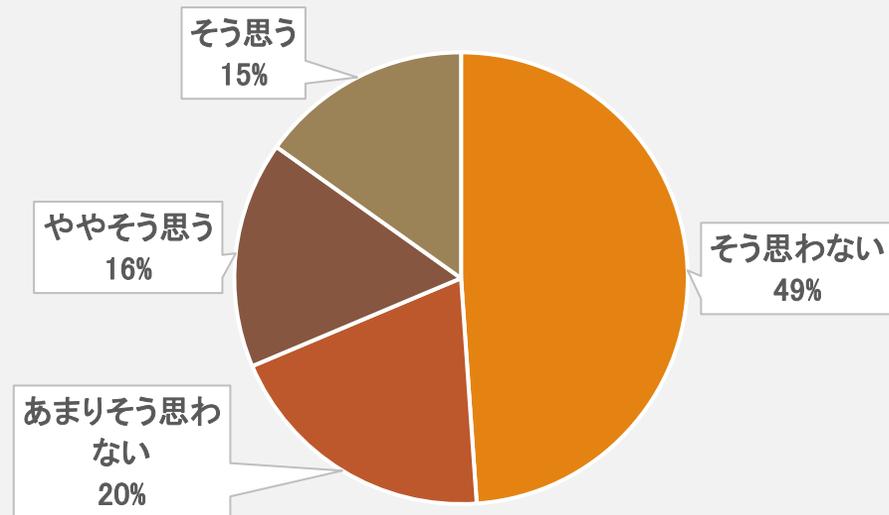
項目:当日投票所経費、期日前投票所経費、開票所経費、選挙公報経費、氏名等掲示経費、ポスター掲示場経費、事務費

※R7町長選予算額 約1,670万円、R7町議選予算額 約1,968万円
(どちらも無投票であったため、予算額を掲載)

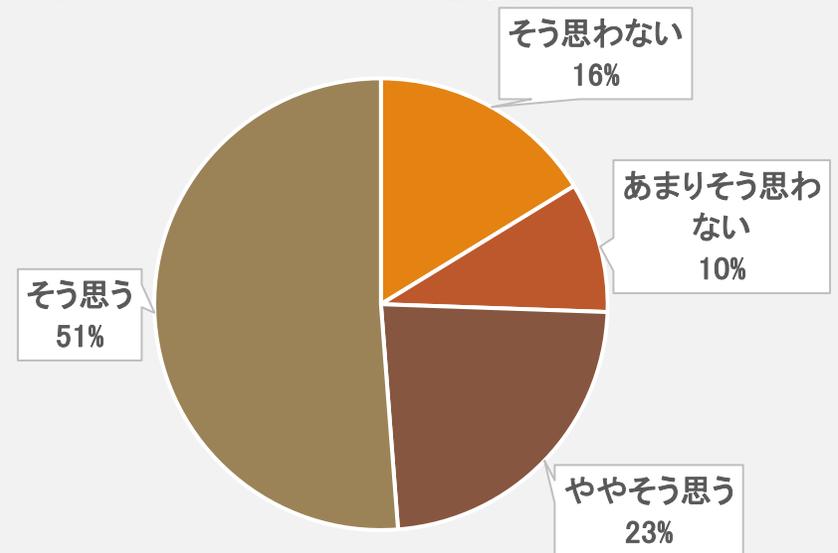
投票所運営の状況について④

R7参院選に投票管理者、投票立会人のご協力の下、『投票所等に関するアンケート調査』を実施しました

①地区の集会所等を投票所として貸し出すことは負担である

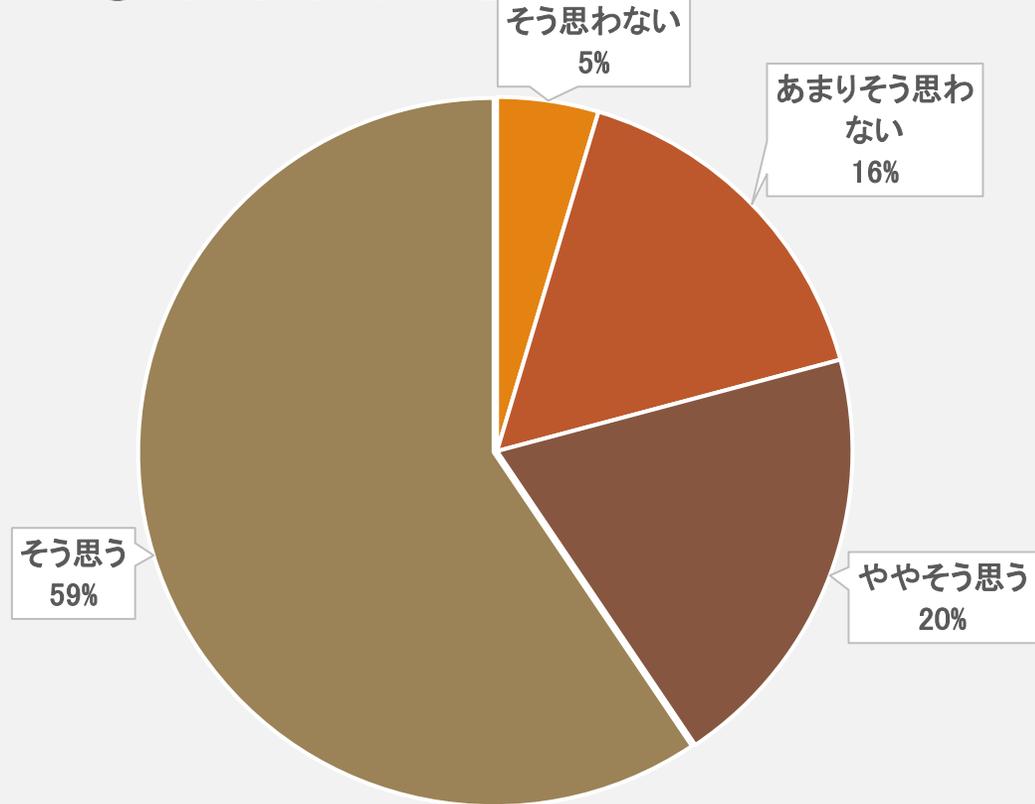


②移動手段等支援があれば、投票所を統廃合することもやむを得ない

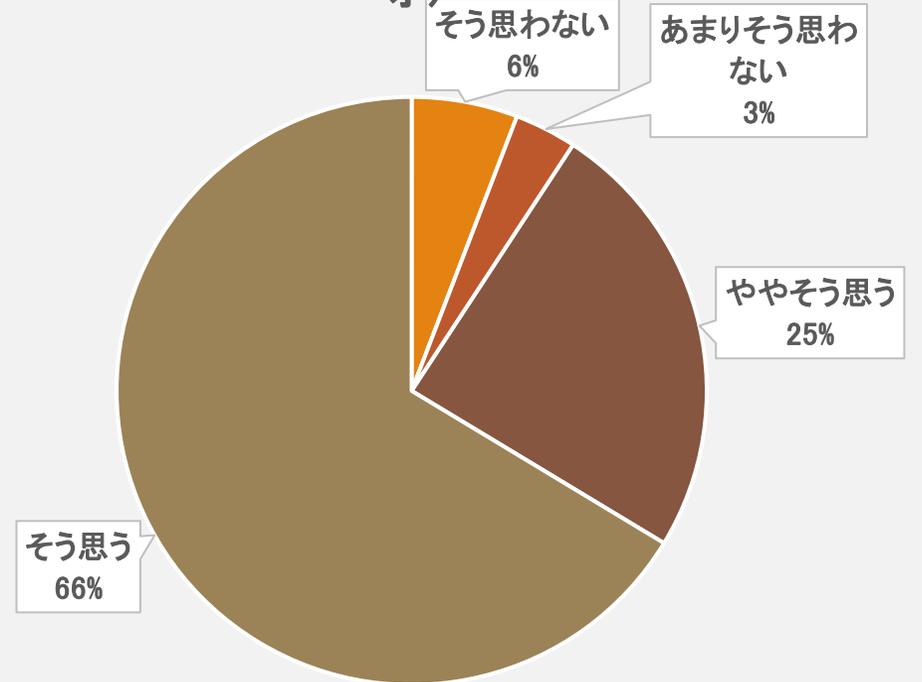


投票所運営の状況について④

③期日前投票所を充実させるべきだ

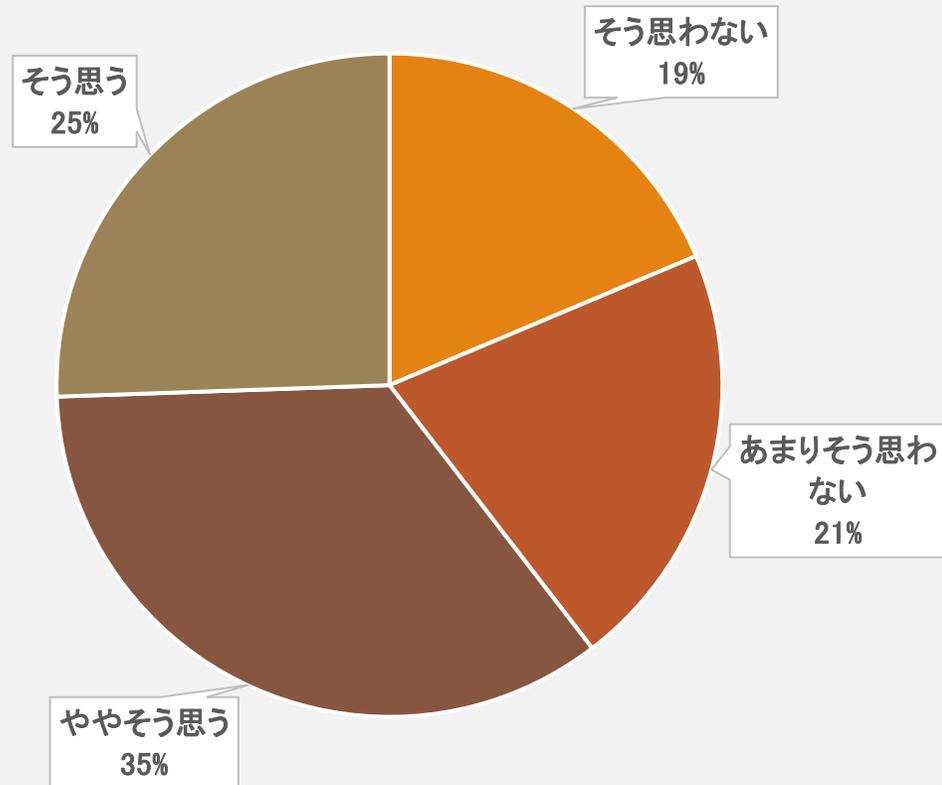


④投票所は環境の良い場所にすべきだ(気温、お手洗い、バリアフリー化等)

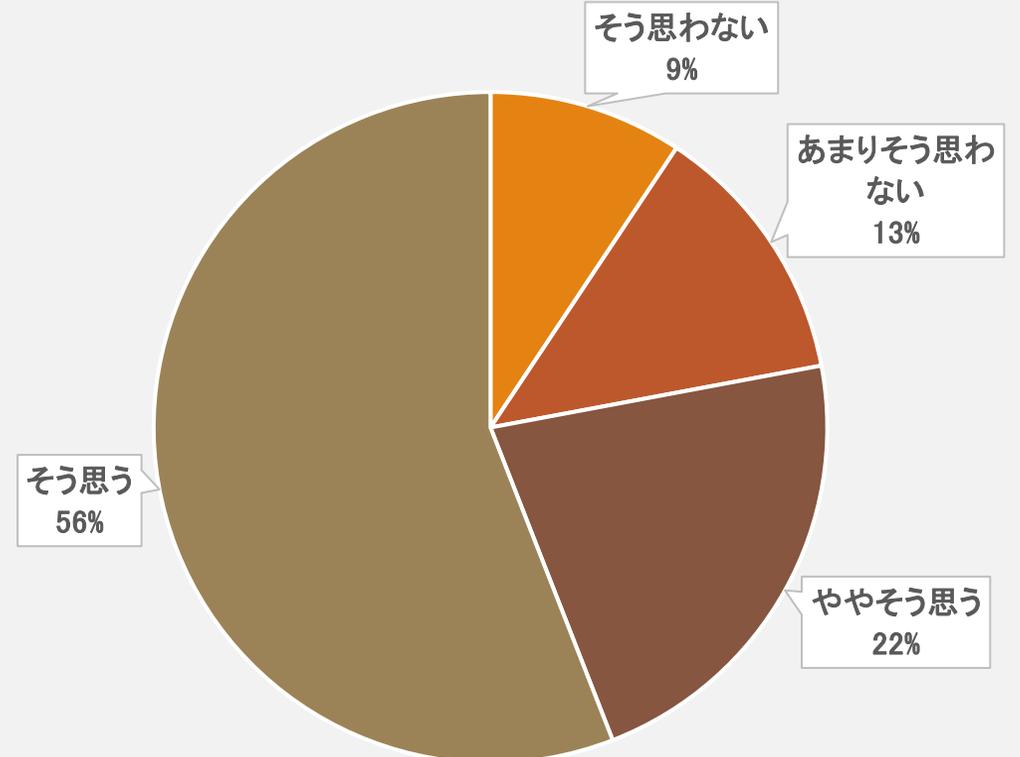


投票所運営の状況について④

⑤地区で投票管理者や立会人を選出するのは負担である



⑥拘束時間(6時40分～18時00分)が長いので負担である



投票区再編を行った場合のメリット・デメリット

観点	メリット	デメリット
住民の利便性	<ul style="list-style-type: none">・駐車場や冷暖房、バリアフリー対応の投票所を確保できる	<ul style="list-style-type: none">・自宅から投票所までの距離が遠くなる・高齢者や交通弱者の負担が増える
公平性	<ul style="list-style-type: none">・設備・環境を一定水準に統一できる・投票環境の格差を是正できる	<ul style="list-style-type: none">・地域によっては「不利になった」など不公平感が生じる
運営体制	<ul style="list-style-type: none">・投票管理者・立会人を確保しやすくなる・経験者を集中的に配置でき、事務ミス防止につながる	<ul style="list-style-type: none">・1投票所当たりの業務量が増え、混雑や待ち時間が発生する可能性がある
人的コスト	<ul style="list-style-type: none">・職員の事務従事者を削減できる・選挙事務の効率化が進む	<ul style="list-style-type: none">・繁忙になり事務従事者の負担が集中する
財政面	<ul style="list-style-type: none">・会場使用料、備品費などが削減できる・全体の選挙コストの削減	<ul style="list-style-type: none">・代替策を講じる場合に新たな費用が発生する
施設管理	<ul style="list-style-type: none">・施設環境が整った場所を確保できる・集会所の使用予定を変更しなくてすむ	<ul style="list-style-type: none">・施設利用との調整が必要になる
投票率への影響	<ul style="list-style-type: none">・環境のよい投票所で安心して投票ができる	<ul style="list-style-type: none">・投票所までの距離が遠くなるなど移動手段の問題で投票率が下がる可能性がある
住民理解	<ul style="list-style-type: none">・合理性や持続可能性を説明できる	<ul style="list-style-type: none">・身近な投票所がなくなるという心理的抵抗がある

懸念事項解消への他自治体の取組み

①投票移動支援(事例:栃木県大田原市)

- 市営バス及び交通利用料免除による投票移動支援
- 身体に障害のある方等へ無料タクシーによる投票移動支援
- 無料巡回バスによる投票移動支援



②移動期日前投票所(事例:柳津町)

- 決まった日時に、廃止になった投票所箇所へ車両で移動し、車外で受付名簿対照、車内で投票を実施

懸念事項解消への他自治体の取り組み

③臨時期日前投票所(事例:香川県さぬき市)

- ・ 常設の期日前投票所が設置されていない地区に日数、開閉時間を限定し、実施

④共通投票所(群馬県大泉町)

- ・ 7つの新投票区投票所をすべて共通投票所を併設する